

## 2020(令和2)年度 第6弾 就活クエスト in OSAKA(おおさか就 Que) 実施報告

### 事業趣旨:

コロナ禍の影響により、実地を伴うインターンシップ事業が一律中止となったなか、Zoom や Slack といったオンラインツールを活用した新しい形のプログラムを試行する。

オンラインの特性を生かし、在阪企業(団体)の様々な業界で活躍する人々と学生との出会いの場を設け、その業界について学び、また新しいビジネスアイデアを共に考えることを通じて、学生の業界に対する関心や就業意識を高めることを目的とする。

テーマ: 「いま旅行業は、ガチでどうなってんの？」

実施日: 2020(令和2)年11月28日(土)

実施場所: オンライン(Zoomにて)

講師: イツモ・トラベル株式会社 松本 広美氏

ファシリテーター: 阪南大学 国際コミュニケーション学部 教務部教務課 課長補佐 角井 康寛氏  
(大学コンソーシアム大阪 インターンシップ部会 推進委員校より選出)

参加学生数: 8大学11名

(大学別) 大阪市立大学1名/大阪学院大学1名/大阪経済大学1名/大阪商業大学1名/  
大阪成蹊大学1名/大阪体育大学1名/四天王寺大学3名/相愛大学2名

企画・運営: 大学コンソーシアム大阪 インターンシップ部会 推進委員会

### プログラム概要:

日程・場所	プログラム	内容
11月28日(土) 10:00~12:00 Zoomにて	オンラインミーティング	・プログラムの趣旨説明 ミニ講演 イツモ・トラベル株式会社 松本 広美氏 ・グループ討議 テーマ: 1. 講演を聞いてどう感じたか? 2. これからの旅行業や観光業はどう変わっていくべきか? ・講評&クロージング

オンラインミーティングの様子：



参加者アンケート：

別紙のとおり

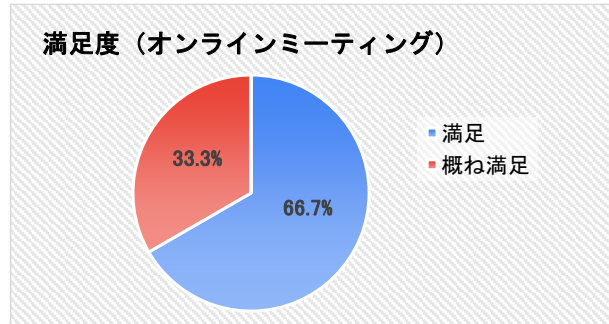
# おおさか就活クエスト 第6弾 参加者アンケート

参加者数 8大学11名 (うち 回答者数 9名)

## ●オンラインミーティングについて

### 1.満足度

満足	6
概ね満足	3
満足できない点があった	0
不満	0



### 2.満足度の理由

#### 「満足」と回答

- ・様々な意見交換ができ、また旅行業界の現状について学べたから。
- ・旅行業や文化について深く学べたから。
- ・今の旅行業の在り方について知ることができた。
- ・今回のプログラムにおいては「自分に不足した能力についてグループディスカッションを通じて自覚することができたこと」「旅行業界に実際に携わっている人の意見を直接聞いたこと」「旅行業界の現状について行っている対策について学べたこと」の3点についての理解を深められたので上記のように回答させていただきました。
- ・積極的な姿勢で皆さん話していたので、議論が活発化していた。
- ・グループディスカッションで意見を主張したり、総括するものを経験できたから。

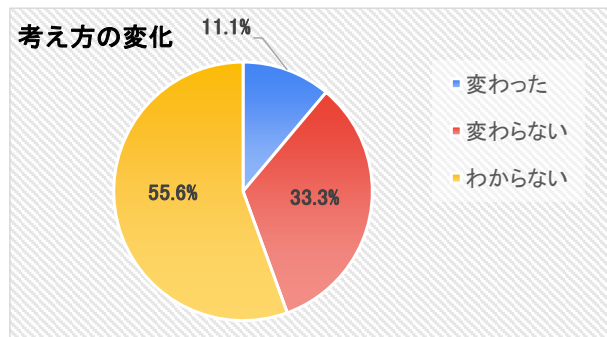
#### 「概ね満足」と回答

- ・もっと積極的に自分の意見を伝えられるようにしていきたい。
- ・観光業における現状を概ね把握することができたのではないかと感じました。今後の展開をどのように考えてらっしゃるのか、もう少し伺いたかったことから概ね満足と回答しました。
- ・皆とディスカッションができて楽しかったです。

## ●就職活動や進路選択にあたって

### 3.考え方は変わったか

変わった	1
変わらない	3
わからない	5



### 4.変化の理由

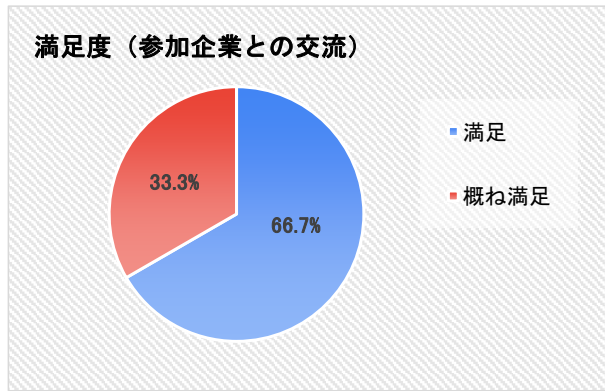
#### 「変わった」と回答

- ・就職により危機感を感じた。

●参加企業との交流について

5. 満足度

満足	6
概ね満足	3
満足できない点があった	0
不満	0



6.上記と回答した理由

「満足」と回答

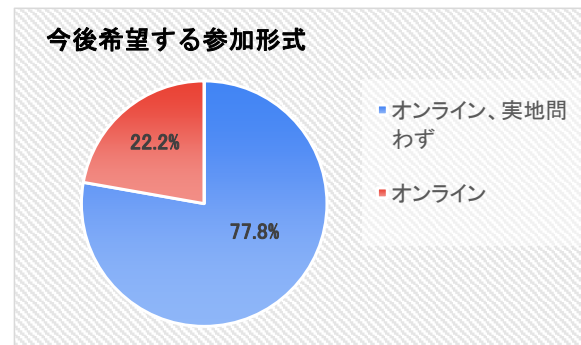
- ・色々な話を聞くことができたから。
- ・現地コーディネーターの方はどんな仕事をしているのか気になっていたため勉強になった。
- ・参加企業との交流に関して、限られた時間の中でQ&Aに回答していただいたことに満足しています。
- ・旅行業、観光業の現在地についての知識を得ることができた。
- ・今回のプログラムにおいて質問にお答えいただく機会も多く、またグループディスカッション中にも意見の交流を行える機会が多くあり、意見交換を通じて意見の改善や知見を広げることもできたため、私個人の感覚としては活発な交流ができて満足できる環境でした。

「概ね満足」と回答

- ・交流時間が足りないと感じたから。
- ・いろいろな話が聞けて勉強になりました。
- ・なかなかコロナで現地に行くことは難しいが、一度足を運んでみたいと思った。

7.今後希望する参加形式

オンライン、実地問わず	7
オンライン	2
実地で	0



8.上記と回答した理由

「オンライン、実地問わず」と回答

- ・みんなと意見交換をするのは、学べる事が増えるし楽しいため。
- ・オンラインはどこでも開催することができるし、会場の方が話が盛り上がるという双方に利点があるから。
- ・積極的にイベントに参加して知識を深めていきたい。
- ・オンラインであれ実地開催であれ、それぞれ良いところ、良くないところがありますので、どちらでも構いません。
- ・オンライン、実地に関わらず、良い経験であると感じたから。
- ・興味のあるモノであれば、どのようなかたちであれ、参加したい。

「オンライン」と回答

- ・オンラインベースである方が、コミュニケーション能力(発言)の向上にも繋がると感じています。またコロナ対策、移動などに関してもオンラインの方が参加しやすいのではないか、と個人的には考えています。
- ・コロナが市中で感染拡大していることや大阪市内の地理に疎いことから実地参加は現状においてはあまり参加に意欲がわかないため。

#### 9.今後、テーマとして取り上げてほしい業界や職種

- ・旅行業、航空産業、国際系
- ・通訳業界
- ・不動産
- ・IT業界
- ・テレビ局、ラジオ局

#### 10.その他、プログラム全体についての感想や意見など

- ・本日はとても有意義な時間になりました。また機会があれば参加したいです。
- ・このような貴重な機会を提供していただきありがとうございました。今後も参加したいと考えていますので、その時はどうぞよろしくお願いいたします。
- ・仕方がないことだとは思いますが、遅刻者の自己紹介は後からでよいと思う。